

## U07c 可変宇宙項の Recombination への影響

迫田数貴、木村和登、橋本正章 (九大理)、荒井賢三 (熊大理)

宇宙進化において宇宙項の役割を調べることは宇宙の構成物質を規定していく上で極めて重要なことと考えられる。特に、最近では宇宙項が時間的に変化するモデルが再検討されている。この可変宇宙項の性質は第五元素と関連しており、暗黒物質の存在の可否、バリオンの総量を定める上で鍵となりうる。現在のところ、様々な可変宇宙項モデルが提唱されており、その性質を制限するのに、宇宙初期元素合成、CMBの揺らぎ、重力レンズ統計などが使われている。

我々は、Overdui & Cooperstock (1998) のモデルをもとに宇宙進化の熱史を構築し、可変宇宙項の Recombination の時期に与える影響を調べた。